

2026年度 編入学試験 小論文（地球市民学科）解答例

（2026年11月22日実施）

<出題意図>

課題文を読み、要旨や要約を考える問題と、課題文に関して自己の意見を記述させる問題により、志望する分野に関する基礎的な知識・理解および思考力・表現力を測る。

<解答例>

一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略する。

問1 目的と手段を日本人は混同しがちである。ことに、教育などの、価値観が関わる議論をする場合に混同が生じやすい。

ある目的を達成するための手段は効率的な方がいいはずである。ところが、目的と手段を明確に分けないので、効率的に目的を達成できる手段に対して、批判が生じることがある。たとえば、逆上がりや跳び箱が誰でもできるようになる指導法は優れているはずだが、このような指導法に対して、文部科学省の教科調査官などの専門家たちから、目的を達成するための努力が損なわれるのでよくない指導法である、という批判があった。

問2 解答例省略

以上